

教えて！ 行方市フォント

行方市は、市制施行 20 周年記念事業として、行方市らしさを表す「行方市フォント」を決める取り組み「行方市フォントプロジェクト」を、フォントメーカーである株式会社モリサワと協力して、実施しました。

皆さんに愛される「行方市フォント」を目指して、制定までのストーリーをご紹介します。

COMMENTATOR



株式会社モリサワ
マーケティング統括部
インサイドセールス課
縄田 萌 さん



行方市
企画部魅力発信課
シティプロモーショングループ
藤田 彩海

#2 「行方市フォント」に込められた「らしさ」

1 行方市らしさって、何だろう？

「行方市フォント」を制定するために、「行方市らしさ」を探します。



行方市にふさわしいフォントを決めるため、市職員の皆さんに「行方市らしさ」を探してもらいました。

行方市らしさを表す行方市フォントを決める取り組みとして始まった『行方市フォントプロジェクト』。

前回のお話では、解ミン 宙というフォントが選ばれたことをお伝えしましたが、このフォントが選ばれるまでのストーリーをご説明します。

行方市フォントの候補書体を決めるために、市職員向けの情報発信研修会の中で、行方市らしさとは何かを探すワークショップを開催しました。



豊かな自然、温かい人々、歴史や食の魅力など、たくさんの「らしさ」を挙げていただきました。「未来の行方市がどうなっていてほしいか」「市民や観光客に伝えたい魅力は何か」をテーマに、さまざまな意見が集まりました。



通学路に、古墳や文化財がある



野菜をおすすめしてもらえてうれしい



自然が多く、アウトドアの趣味ができる

▲ 職員から挙げられた「行方市らしさ」の意見の一部

2 4つの「らしさ」と候補書体

ワークショップを通じて、4つの書体が候補となりました。



職員向けワークショップで挙げられた意見を参考に、行方市らしさを表す4つの候補となりました。



選ばれた候補書体は
はせミン、解ミン 宙、ソフトゴシック、フォークの4書体です。
これらの候補書体には、未来の行方市像という視点で、それぞれテーマを決めて選定しています。
それぞれの書体に込められたテーマや、職員向けワークショップ後の過程については、次回ご説明したいと思います。



POINT 情報発信研修会とは？

行方市では、市民の皆さんに市政情報や地域の魅力を分かりやすくお届けするため、(株)モリサワ社員の方を講師にお招きし、市職員を対象とした情報発信研修会を定期的に開催しています。

■ (株)モリサワとの「連携協力に関する包括協定」

市では、地方創生と伝わる情報発信を目指して、令和3年2月に「連携協力に関する包括協定」を締結しました。

誰一人取り残さない情報発信を目指し、読みやすく誤読の少ないUD(ユニバーサルデザイン)フォントを行政資料に活用するなど、これまでさまざまな取り組みを進めてきました。

情報発信研修会も、この取り組みの一環です。



▲ 情報発信研修会・行方市フォントワークショップの様子

笑顔で住み続けたいまち、行方 …… はせミン B

笑顔で住み続けたいまち、行方 …… 解ミン 宙 B

笑顔で住み続けたいまち、行方 …… ソフトゴシック M

笑顔で住み続けたいまち、行方 …… フォーク M

▲ 行方市フォント候補の4書体

今回は、中学生投票までの過程を紹介します。